

春木川・轟川をよくする市民の会

市民の環境保全活動

団体の概要

春木川・轟川流域の河川・水路等の環境問題について自主的に話し合い、関係機関との連絡調整をはかりながら協働して諸活動を進め、流域の豊かな水辺環境を取戻し、うるおいのある地域づくりを進める。

結成：平成 8 年 11 月

【参加団体・個人】流域 54 町会、学校関係 14 団体、各種 34 団体、個人 15 名

具体的な取り組み

春木川・轟川一斉清掃

源流の神於山（北阪町）から河口（春木泉町）まで、およそ 11km を一斉に清掃。

実施日：平成 21 年 10 月 25 日 参加者：1,026 人 ごみ収集量：3.1t

平成 22 年 3 月 14 日 参加者：1,039 人 ごみ収集量：3.3t

春木川カニ釣り大会

流域の子ども達を対象に、春木川河口部に生息するカニを釣りながら、その種類と生態を学習。同時に河川の環境を知り、春木川への関心を高めることを目的に六蓮橋から春木橋の間で実施。

実施日：平成 21 年 7 月 18 日 春木・朝陽・大宮・城北小学校の児童を対象に実施。
92 名が参加。

チャンピオン 17 名誕生。

平成 21 年 8 月 1 日 常般・八木南・光明・修斉小学校の児童と保護者、本会構成団体の小学生と保護者を対象に実施。78 名が参加。
チャンピオン 20 名誕生。

釣れたカニの種類 クロベンケイガニ、ハマガニ、アシハラガニ

10 年前にはアカテガニも生息していました。

昨年はハクセンシオマネキの生息が確認されましたが、今年は確認できませんでした。

ホタル再生部会

第 1 回：平成 21 年 9 月 8 日 春木川・轟川でのホタルの再生を目指し、部会を発足し、ホタル再生の目的と意義を確認しました。

調査：平成 21 年 11 月 23 日 現地調査を行いました。

* その他の河川での美化活動を行っている団体

葛城の谷市民協議会

団体の概要

結成目的：津田川の自然を守り、後世に引き継ぐ

参加団体：旭・太田、天神山、修斉、東葛城地区市民協議会

具体的な取り組み

津田川一斉清掃（源流から虎橋までを一斉清掃）

実施日：平成 21 年 10 月 25 日 参加者： 741 人 ごみ収集量：4.6t

平成 22 年 3 月 14 日 参加者： 715 人 ごみ収集量：3.7t

牛滝川・松尾川を守る会

団体の概要

結成目的：牛滝川・松尾川を美化保全するため

参加団体：全八木、山直北・城北、山直南、山滝地区市民協議会

具体的な取り組み

牛滝川・松尾川一斉清掃（源流から高橋までを一斉清掃）

実施日：平成 21 年 7 月 26 日 参加者：1,650 人 ごみ収集量：6.6 t

きしわだ環境市民会議

市民の環境保全活動

団体の概要

地球環境を守り、自然と共生して、市域のよりよい環境を確保し、持続可能な循環型社会を次世代に引き継ぐことを目的に、市民（個人・団体・グループ）、事業者及び行政が岸和田市環境計画に掲げるパートナーとして、相互の活動をネットワークで結び、さらに拡げ、協力・協働行動を推進するために設立。

具体的な取り組み

企画運営委員会、各部会（生活環境部会・自然環境部会・温暖化対策部会・環境教育部会）

毎月 1 回開催

ごみゼロ作戦：5 月 3 日

岸和田市民フェスティバルにて 10 ヶ所のリサイクルステーションを設置。総ごみ量を前年の 84% に激減させるとともに、ごみ総量を 3.6 t のうち 1.7 t を資源化。

（ボランティア参加者 136 名）

市内一斉気温測定：7 月 25 日・2 月 11 日

地球温暖化問題を考えるきっかけとして、「地球の体温いま何？ はかってみよう岸和田の暑さ-」を合言葉に市内において一斉気温測定を実施。

測定参加者：（7 月）231 名、（2 月）115 名

きしわだ環境市民会議総会：2 月 28 日

岸和田市職員会館で開催、市民公開講座を同時開催。

「ごみを減らせば世界が変わる。未来が変わる。」 関本秀一さん（環境カウンセラー）